日本の科学者　Vol. 57　No. 8　2022 年 8 月 1 日発行　付録

ＪＳＡ神奈川支部通信

No. 8 August 2022 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408　飯岡ひろし
携帯電話 090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円　ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774　日本科学者会議 神奈川支部

この号の見出し

◆原水爆禁止世界大会科学者集会2022（7月24日、31日）のお知らせ　集会実行委員会
◆参院選の結果と今後の課題について　後藤仁敏
◆参院選を終えて　野党共闘の不発　神奈川民間懇　北山宏之
◆本の紹介：『コロナ後の世界』（内田樹著、文芸春秋）　後藤仁敏
◆映画紹介：「百年と希望」（西原孝至監督、太秦）　後藤仁敏

原水爆禁止世界大会科学者集会 2022「『安全保障』と差別」のお知らせ

集会実行委員会

原水爆禁止世界大会科学者集会 2022 が「『安全保障』と差別」をテーマに、下記の要領で、7 月 24 日と 31 日の 2 日間に分けて、オンラインで開催します。皆様のご視聴をお願いします。

1 日目：7 月 24 日（日）17:00～19:00
講演：石山徳子氏（明治大学）
「アメリカ核開発と先住民族
―『犠牲特区』からの報告」

2 日目：7 月 31 日（日）17:00～19:00
講演：和田賢治氏（武蔵野学院大学）
「ジェンダー化する安全保障」

石山徳子氏

和田賢治氏

講師紹介：

石山徳子（いしやま のりこ）日本の政治地理学者、明治大学教授。日本女子大学文学部英文科卒、1997 年同大学院英文学修士課程修了、2002 年ラトガース大学政治経済学地理学博士課程修了、Ph.D.取得。明治大学政治経済学部准教授をへて、教授。2004 年『米国先住民族と核廃棄物』でアメリカ学会・清水博賞受賞[2]、2021 年『「犠牲区域」のアメリカ 核開発と先住民族』で河合隼雄学芸賞受賞。著書に『米国先住民族と核廃棄物 環境正義をめぐる闘争』（明石書店、2004）、『「犠牲区域」のアメリカ 核開発と先住民族』（岩波書店、2020）などがある。

和田賢治（わだけんじ）武蔵野学院大学准教授。神戸大学大学院国際協力研究科国際協力政策専攻博士後期課程修了。著書に、「第 5 章ジェンダー化する安全保障」（南山淳、前田幸男編著『批判的安全保障論』法律文化社、2022）、「第 7 章　平和構築と軍事-「救援」と暴力のマネジメント」（蘭信三、石原俊、一ノ

瀬俊也、佐藤文香、西村明、野上元、福間良明編『「戦争と社会」という問い』（シリーズ戦争と社会 1）岩波書店、2021）、「ジェンダー研究―日本の国際関係論における受容と展開」（初瀬龍平、戸田真紀子、松田哲、市川ひろみ編著『国際関係論の生成と展開―日本の先達との対話』ナカニシヤ出版、2017）などがある。

開催方法：オンライン　参加費無料　要、事前申込み
参加方法：参加希望日程（1 日目・2 日目）と名前を記したメールを 7 月 22 日正午までに、次にお送りください。kagakusya@astatel.net　後日、アクセス方法を記したメールを送ります。
主催：原水爆禁止世界大会科学者集会 2022 実行委員会
事務局：三木敦朗（mikia26@shinshu-u.ac.jp）

参院選の結果と今後の課題

後藤仁敏

2022 年参院選の結果

7 月 10 日に実施された第 26 回参議院選挙は、自民党と維新の会が議席を増やし、衆議院に続き参議院でも改憲勢力が 3 分の 2 以上を占めることになった。一方で、立憲野党は立憲民主党と日本共産党が議席を減らしたが、社民党が 1 議席を死守し、れいわ新選組も議席を増やした。

2016 年、2019 年には 32 の 1 人区すべてで野党共闘が実現し、それぞれ 11 議席、10 議席を獲得したが、今回は 11 のみとなり、当選できたのはわずか 3 議席だけに終わった。野党共闘の重要性を改めて痛感させられた。

しかし、参院選での自民党の得票数と得票率は昨年の衆院選より減らしているのも事実だ。全国比例では衆院選での 19,914,883 票（34.7%）から参院選では 18,256,244 票（34.4%）になっており、マイナス 1,658,639 票減らした。絶対得票率は衆院選での 18.9%から参院選では 16.8%となっているのだ。つまり、自民党は議席数は増やしても、投票した人の 34.3%、有権者全体からすればわずか 16.8%の支持しか得ていないのである。民意を正確に反映しない選挙制度によって、改選議席 125 のうち 50.4%の 63 議席を占めたのである。ちなみに、一票の格差は、定数 1 あたりの有権者数が全国で最も少ない福井選挙区に対し、最も多い神奈川選挙区が 3・03 倍、神奈川での 1 票の価値はわずか「0・33 票」だった計算になるのだ。

神奈川選挙区の結果は、さらに残念だった。改選 5 議席のうち、自民党が 2 議席（80 万票の三原順子氏と 54 万票の浅尾慶一郎氏）、維新の会が 1 議席（60 万票の松沢成文氏）、公明党が 1 議席（54 万票の三浦信祐氏）で、立憲野党としては立憲民主党の 1 議席（39 万票の水野素子氏）のみが当選、日本共産党の浅賀由香氏は 35 万票にとどまり、前々回、前回に続いて落選となった。しかも、水野氏は松沢氏の辞任の補欠選挙の 5 位当選で、任期は 3 年、3 年後には現職の牧山弘恵氏と重なることになってしまった。

立憲野党 2 議席当選をめざした「つながろう参院選@かながわ」は、2 人擁立した立憲民主党に候補者の 1 本化を要請したが、無視されたのが残念だ。もう一人の立民党の候補者・寺崎雄介氏は

21 万票獲得しており、1 本化していれば水野氏の 39 万票と合わせれば 60 万票となり、維新の松沢氏とほぼ同じ、54 万票の公明党の三浦氏を上回っており、その余力で共産の浅賀氏も当選圏内に入った可能性もあった。

神奈川 4 区市民連合は、立憲野党２議席をめざしたが、4 区内の票を見れば、1 位は浅尾慶一郎氏で 57,7026 票、2 位が水野素子氏で 22,787 票、3 位が三原じゅん子氏で 22,776 票、4 位が松沢成文で 22,127 票、5 位が浅賀由香氏で 18,307 票で当選しており、三浦信祐氏は 6 位の 16,896 票で落選であった。前回の参院選でも、4 区だけでは、1 位が立民党の牧山弘恵氏、浅賀由香氏も 4 位で当選圏内に入っており、このことは 4 区市民の自信となっている。

結果的に岸田首相を助けた神奈川市民

ところで、私たちは昨年 8 月の横浜市長選で菅前首相が応援した自民党候補に大差をつけてカジノ反対の山中市長を誕生させた。その結果、菅氏は自民党神奈川県連から見捨てられ、総裁選への出馬辞退に追い込まれた。その結果、岸田氏が総裁選で勝利したのだった。菅氏が出馬していたら、安倍氏らは菅氏を応援し菅氏が再選されたのに、菅氏を辞退に追い込んだことで、結果的に岸田氏を当選させることになったのだ。さらに、安倍・麻生両氏は岸田総裁を抑え込むために「3A」の一人甘利明氏を自民党幹事長に据えたのに、13 区の 4 市市民の会が奮闘して選挙区で甘利氏を落選させ、幹事長辞任に追いやった。代わって茂木敏充氏が幹事長になった。そして、今回の安倍氏の急死で岸田氏はさらに独自色を発揮できるようになったのではないだろうか。

とはいえ、安倍派は 94 人からなる自民党最大派閥であり、安倍氏亡き後の同派の動向が注目される。岸田首相も、安倍氏の改憲・大軍拡・敵基地攻撃能力の保有などの遺志を継ぐのか、独自色を出すのかといえば、圧倒的に安倍路線を受け継ぐ可能性が高いことは間違いない。

安倍元首相銃撃事件と旧統一協会

今回の参院選終盤の 7 月 8 日、安倍晋三元首相が奈良市内で元海上自衛隊委員の山上徹也容疑者に手製の銃で射殺される事件が起こった。母親が旧統一協会に多額の寄付をして破産し、同協会に協力した安倍氏を恨んでの凶行であったと報じられているが、当初のマスコミは安倍氏礼讃の番組を垂れ流し、容疑者の動機について触れる番組は少なかった。また、容疑者が安倍氏の撮影した動画にはっきり写っており、奈良県警の警備にも大きな問題があったことも指摘されている。かなり前から爆弾や銃器を作成しており、材料を購入し、異常な騒音も出していた。前日には旧統一協会の事務所で試し打ちをしており、安倍氏を殺すために岡山まで出向いている。当日も、事前に現場に来ており、犯行に及ぶまでにも阻止できる機会はあり、1 発目の後ですら、安倍氏の保護を怠っていた。今後警備の問題と責任が厳しく追及されなければならない。

なお、旧統一協会は現在では「世界平和統一家庭連合」と名のっており、ウイキペディアに廃家の記述がある。

「文鮮明によって 1954 年に韓国で創設された宗教右翼団体である。開祖の文鮮明は「愛天、愛人、愛国」の教えを説き、日本の初代会長の久保木修己は「美しい国、日本の使命」の教えを説いた。アメリカ合衆国下院調査小委員会の報告書では、朴正熙大統領の個人的な指示の下、韓国の政治的目的を達成する為に KCIA（大韓民国中央情報部）部長金鍾泌により設立されたとされている。

欧米ではカルト宗教とみなされており、韓国、日本、米国、ウクライナなどに拠点が存在する。多角的にビジネスを広げ巨大な資金力と国際的な政治力を持ち、韓国では財閥組織の扱いを受けているが、教団の運

営資金源の7割は日本で社会問題となっている霊感商法などから捻出されたものである。70年代当時には「マインド・コントロール」の手法を確立し、その後の新興宗教勢力であるオウム真理教をはじめとするカルト的宗教団体が模倣していった。

日本では安倍晋三元総理大臣の祖父、文鮮明の盟友であった自由民主党元総裁岸信介の時代から、反共産主義運動や右派運動などの保守政治、日本の右傾化の歴史に根深く関与してきた。神田外語大学の民族主義運動の専門家であるジェフリー・J・ホールは、統一教会は岸信介の時代から日本の保守政治に関与してきたと指摘しており、国際勝共連合などと共に日本の反共産主義運動や右派運動といった、日本の右傾化の歴史に根深く関与してきたとしている。1964 年、日本で宗教法人の認可を受けた。初代会長になったのは元立正佼成会信者の久保木修己だった。同年、「原理研究会」が設立され全国の大学で学生伝道を開始。世界平和統一家庭連合の総裁は、文鮮明の妻である韓鶴子が就任している（2008 年時点）。1968 年、文鮮明が岸信介らの協力を得て反共産主義政治団体「国際勝共連合」を日本に設立した。

統一教会は、霊感商法を利用した高額な物販と献金に関する問題や、教団が結婚相手を決める合同結婚式、麻薬関連のマネーロンダリングと密輸、統一教会信徒の拉致監禁問題、反共産主義や朝鮮半島の統一の支持、歴史修正主義、反同性婚、反夫婦別姓、反ロシア思想、岸信介政権時代からの自由民主党との関係などの政治との関わりなど、様々な問題で物議を醸している。特に統一教会の布教方法と、高額な献金や財物の購入を強いられることが問題とされ、統一教会を相手に元信者らが札幌地裁に提訴した「青春を返せ裁判」は 1987 年から 2001 年までの 14 年間に及んだ。2000 年の広島高裁岡山支部での控訴審では一審を破棄し、統一教会/統一協会の伝道の違法性を認定する全国初の判決が出た。これは日本において、宗教団体による勧誘・教化行為の違法性を認めた全国初の判決となった。

世界で活動する教団の運営資金の 7 割は日本での「霊感商法」から得られたものであり[20]、日本は「金のなる木」、集金の場所として扱われた。全国霊感商法対策弁護士連絡会によると、判明している分だけで、1987 年から 2021 年までの霊感商法による「被害件数」は 3 万 4537 件で「被害総額」は約 1237 億円に上り、物販には壺・印鑑・朝鮮人参濃縮液などが用いられ、その「被害」の高額さから社会問題化している。

安倍晋三と教団の関係は、祖父の岸信介、父親の安倍晋太郎の親子三代にわたるものだったと伝えられる。（中略）。安倍政権下で開催された桜を見る会にも、2013 年から 2016 年にかけて教団関係者が招待されていたとされる。安倍は 2021 年 9 月 12 日（日本時間）に開催された天宙平和連合（UPF）主催のイベント『THINK TANK 2022 希望前進大会』にも、UPF インターナショナルとワシントン・タイムズからの依頼に応じる形でビデオメッセージを寄せている。このビデオメッセージについて、全国霊感商法対策弁護士連絡会は同年 9 月 17 日、安倍に対し公開抗議文を送付している。」

これを見ても、安倍晋三氏と旧統一協会との関係は祖父時代から続く緊密なものであることは明白である。今後の解明が期待される。

言うまでもなく、安倍氏は憲法 9 条に違反する集団的自衛権の行使を容認する安保法制や、国民の思想や内心を処罰の対象にする共謀罪法などの悪法を強行しただけでなく、森友学園と加計学園問題、「桜を見る会」など政治の私物化を進め、森友問題では公文書の廃棄、改竄まで行ない、「桜を見る会」の前夜祭では国会で 118 回のウソ答弁をしたことが明らかになっている。。森友問題では公文書の改竄を命じられた財務省近畿財務局の赤木俊夫氏が自殺している。安倍氏がこれらの罪を認め、償う機会が失われたことが残念でならない。

今後の課題：改憲阻止のために

岸田首相は選挙後の記者会見で、9 条への自衛隊明記を含む自民党改憲 4 項目を中心に国会論議

を進めると表明し、維新も同調している。維新の松井代表は選挙期間中に、来年４月の統一地方選に合わせた改憲のための国民投票の実施を主張した。

しかし、公明党の山口代表は「数合わせではなく、どういう合意をめざすかが大事だ。国民の理解を伴っていかなければ、到底発議には及ばない」と述べ、憲法改正に向けた議論は慎重に進めるべきだという考えを示した。また、「自衛隊は国民の多数が容認しており、改憲しなければ仕事ができない状況ではない」とも述べている。また、北側副代表は９条でなく、72 条の行政各部に自衛隊を明記する考えを表明している。改憲４党とはいっても、各党でその主張と中身についてはさまざまのようだ。

自民党は 2005 年と 2012 年に独自の改憲草案を発表している。現憲法のおもかげがまだ残っていた 2005 年草案に比べて、2012 年は天皇を元首化、自衛軍を国防軍とする、表現の自由を制限する、家族の助け合いを明記する、基本的人権を削除するなどとより帝国憲法に近いものになっている（図 1）。これらは、ともに野党時代に作成されたもので、支援団体の日本会議など右翼組織の影響の強いものとなっている。

これらは、ともに野党時代に作成されたもので、支援団体の日本会議など右翼組織の影響の強いものとなっている。

しかし、2017 年５月、安倍元首相は、このような改憲案ではとても国民投票で多数を得られないと判断し、この案を諦めて、４ 項目に絞った新しい改憲案を提唱した（図 2）。

	05年草案		12年草案	
前文	書き出しは、現行憲法と同じく「日本国民は」で始まる	➡	「日本国は」で始まり、国家と国民のあるべき姿を規定	国家主義が鮮明になった
国旗・国歌	なし	➡	国旗は日章旗、国歌は君が代と明記し、国民の尊重義務も規定	第3条
自衛隊の位置づけ	9条の「戦力不保持」を削除し、「自衛軍」を規定	➡	9条に「自衛権」を明記し、「国防軍」を規定	
表現の自由に対する制限	なし	➡	「公益及び公の秩序を害することを目的とした活動や、それを目的とした結社は認められない」と規定	これ、フジでヤバイ 第21条2項
家族の助け合い義務	なし	➡	「家族は社会の自然かつ基礎的な単位として尊重される。互いに助け合わなければならない」と規定	第24条
基本的人権の不可侵と永久性（憲法97条）	現行憲法通り	➡	11条と重複するとして97条を削除	やっと紙面に登場！です
国民の憲法尊重義務	なし	➡	「全て国民は、この憲法を尊重しなければならない」と規定	第102条 立憲主義の否定
非常時に国の権限を強める緊急事態条項	なし	➡	首相の権限強化、国の指示に対する国民の順守義務を規定	第98条

図 1 自民党改憲草案 2005 年案と 2012 年案の比較

それは、『明日への選択』2016 年 9 月号に掲載された伊藤哲夫氏（日本会議常任理事）の「3 分の２獲得後の改憲戦略」で、憲法に不足しているところだけを補う憲法修正＝加憲ならば護憲派が反対する理由がないはずだと考え、憲法９条第３項案に自衛隊を明記する、緊急事態条項を加えるという案に飛びついたのであった。

その後、2018 年３月に自民党党大会で、「憲法改正に関する条文イメージ・たたき台素案」が発表され、総選挙での公約にも掲げられた。「条文イメージ・たたき台素案」の名のとおり、この案は国会で発議できる完成した形の憲法改正案の草案ではなく、草案を作るためのたたき台である。４ 項目は、①憲法に自衛隊の明記、②自然災害など緊急事態への対応、③参議院の合区解消（各県別に少なくとも１人以上選出規定）、④生涯教育など教育の充実を追求す

９条改正	■9条1、2項を維持。「9条の2」を新設して自衛隊を明記 ■内閣総理大臣が自衛隊を指揮監督するシビリアンコントロール（文民統制）、国会の統制なども明記
緊急事態条項	■73条の2を新設し、緊急事態を「大地震その他の異常かつ大規模な災害」と定義 ■国会の機能が確保できない場合、内閣が政令を制定 ■64条の2を新設し、緊急事態時の国会議員の任期延長を明記
参院選「合区」解消	■47条を改正し、参院議員を改選ごとに各都道府県から少なくとも1人選出できるよう明記。衆参両院の選挙区と定数は「人口を基本とし、行政区画、地域的な一体性、地勢等を総合的に勘案」する
教育の充実	■26条に「個人の経済的理由にかかわらず」教育を受けられる環境整備をするよう国に努力義務を課す ■89条も改正し、私学助成の合憲性も明確化

図 2 自民党「改憲４項目」条文素案

る内容となっている。

このうち、④の教育の充実は当初は「教育の無償化」となっていたが、党内の反対で「教育環境の充実」に変えられたほど、やる気のない項目となっている。③の合区解消も、地方での民意を反映させるものではなく、衆院の「10 増 10 減」ですら「3 増 3 減」で済まそうとしたように、党利党略が優先で付け足されたものと言えよう。

自民党改憲の第一の狙いは、①の自衛隊明記で、現行の 9 条 1 項と 2 項を「9 条 1 項」とし、新しく「9 条 2 項」として、「自衛の措置」をとるための「実力組織」として「自衛隊を保持する」と明記するとしている。この「自衛の措置」には「個別的自衛権」だけでなく安保法制で認めた「集団的自衛権」も含まれ、最近では敵基地攻撃能力（反撃能力）まで保有する「自衛隊」が憲法上の組織として認められるのだ。

安倍元首相は 9 条の 1 項と 2 項はそのままだから「1㎜ も変わらない」と言っていたが、自衛隊の憲法明記は、「9 条 1 項」に新しい「9 条 2 項」を加えることによって、現行の 9 条 1 項と 2 項はともに空文化することになる。安倍氏は、「自衛隊員と家族は憲法違反と言われて可哀そう」と発言した（この発言は安倍氏の捏造である可能性が高い）が、憲法に書かれることで、集団的自衛権行使のため、外国の戦争に駆り出されたり、敵基地攻撃能力をもつために攻撃対象になる方が、よほど可哀そうではないだろうか。

①自衛隊明記よりも危険なのが、②緊急事態条項だ。「大地震その他の異常かつ大規模な災害」とされているので、自然災害だけと思ったら、大きな間違いだ。「その他」のなかには戦争や内乱も含まれている。政府がいったん緊急事態を宣言すれば、内閣は法律に当たる政令を制定することができるようになり、国会議員の任期まで延期できるのだ。麻生太郎氏が「ナチスの手口に学んだらどうか」と発言したとおり、ワイマール憲法をナチス憲法に変えた全権委任法を制定することをねらったものだ。

①9 条への自衛隊明記がなくても、②の緊急事態条項があれば、憲法 9 条を停止して何でもできるようになってしまうのだ。

このような危険な憲法改悪を阻止するために、九条の会運動は初心に帰って幅広い国民的運動を構築するもとが求められている。

参院選を終えて　野党共闘の不発

神奈川民間懇　北山宏之

参院選は後味の良くない結果となった。7月11日付で市民連合の声明が出ていたことを13日の今日知った。簡潔な内容なので、以下にホームページからコピペした。表題の通り、野党共闘は不発だった。

地元伊勢原の市民連合では、投票日の前日に駅頭で「投票に行こう」のプラスターを掲げた宣伝を行なったが、昨年の総選挙時、市民連合全国で作成されたわかりやすい立憲野党対与党の争点一覧表チラシは用意されず、迫力に欠けていた。

今後の野党共闘のあり方をめぐって熱い議論と行動が求められているようだ。

第 26 回参議院選挙に関する声明

7 月 10 日に行われた参議院選挙は、大方の予想通り、自由民主党や日本維新の会が議席を大幅に増やし、衆議院に続いて参議院でも改憲勢力が議席の 3 分の 2 を超える結果となった。かたや立憲野党は、社会民主党が 1 議席を死守する一方で、立憲民主党も日本共産党も選挙前に比べて議席減となってしまった。

より詳細に見ると、自由民主党が議席を増やしたのは 1 人区を含む選挙区に限られており、比例区ではむしろ 1 議席減らしている。逆に立憲民主党は、比例区では改選議席数を維持、議席減となったのは 1 人区を含む選挙区でのことであった。2016 年、2019 年と立憲野党が積み重ねてきた 32 の 1 人区すべてでの候補者の一本化が今回わずか 11 にとどまり、また、その 11 の選挙区でも選挙共闘体制の構築が不十分に終わった結果、勝利できたのは青森、長野、沖縄の 3 県だけに終わった。

2016 年に 11 議席、2019 年に 10 議席を 1 人区で勝ち取ったことと比較して、野党共闘の不発が今回の選挙結果に結びついたことは明らかである。各地の選挙区で厳しいたたかいを最後まで懸命にたたかい抜いた全国の市民連合の皆さんに深い敬意を表するとともに、立憲野党各党には本格的な共闘への取り組みをまずは国会で一刻も早く再開することを呼びかけたい。

むろん 1 人区だけでなく、複数区や比例区のたたかい方でも課題は見られた。複数区で日本維新の会の全国政党化を阻止したのは極めて重要な成果であったが、特に比例区において立憲野党各党は伸び悩み、日本維新の会や右派小政党に隙を突かれた。これらの課題は立憲野党だけでなく、私たち市民連合も今一度大きな広がりを作り直していくことが不可欠であることを示している。

結果としては改憲勢力に 3 分の 2 を許してしまったが、安倍元首相の殺害という重大事件によって選挙戦が最終盤で大きく歪められてしまったことに加えて、もともと岸田自民党がいかなる政策も明確に訴えなかったこともあり、9 条改憲や歯止めなき軍事力強化路線が信任されたとは到底言えない状況である。市民連合としては、自己目的化した改憲の企てを阻止し、いのちと暮らしを守る政治の実現を求める広範な取り組みを建て直していきたい。

2022 年 7 月 11 日　　安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

本の紹介：「コロナ後の世界」（内田樹著、文芸春秋）

後藤仁敏

著者は、1950 年に東京に生まれ、都立日比谷高校に入学するも、濫読と不良化活動により成績が悲惨な状況に陥り、さらに吉本隆明著『自立の思想的拠点』を読み、高校をやめることを決意し、中卒労働者として極貧生活を送るが、空腹に耐えきれず、半年で家に戻ったという。

大検を受けて、東京大学に入学し、文学部仏文科を卒業、東京都立大学大学院文学研究科博士課程を中退、フランス現代思想を専門とし、同大人文学部助手、神戸女学院大学助教授、教授を経て、現在、同大名誉教授となっている。

本書では、コロナ禍での日本の状況、政府の無為無策、国民の状況をするどく分析している。「コロナマッチョ」、反知性主義、正常性バイアス、相互監視、医療崩壊、縁故主義、『1984』的ディストピア、後手に回る政治、などなどである。

最後に、大瀧詠一、橋本修、加藤典洋、そして吉本隆明についての弔辞がまとめられている。

私がもっとも共感したのは、加藤典洋氏と吉本隆明氏についての記述である。というのは、両氏とも私の恩師・三木成夫氏について注目しているからである。

吉本氏は、1994 年に「モルフォロギア」16 号で「三木成夫さんについて」という文を書いており、「三木さんの方法論が、価値形態論におけるマルクス、国文学研究における折口信夫とおなじだとかんじた」としている。そして、三木の死後出版された『海・呼吸・古代形象』（うぶすな書院）の解説「三木成夫について」も執筆しているのだ。

加藤氏も、その著『人類が永遠に続くのではないとしたら』（新潮社、2014）において、吉本の影響で三木の思想を紹介しているのだ。ありがたいことに、本書の参考文献には三木関する私の論文も引用されているのだ。本物は本物にしか理解されないというのはこのようなことを言うのであろう。

（『コロナ後の世界』内田樹著、文芸春秋、価格本体 1500 円＋税、2021 年 10 月発行、四六判、288 頁、ISBN：9784163914589）

映画紹介：「百年と希望」（西原孝至監督、太秦）

後藤仁敏

© ML9

元衆議院議員の池内さおりは、家に居場所のない母のために、ジェンダー平等実現をめざして党に入り、国会議員として活動してきた。しかし、母から「あんたを赤にするために産んだんじゃない」と母に言われ、一番身近なひとが分かってくれない辛さを語っている。

しかし、池内には行き場のない少女を助ける運動を進める若い仲間がいる。彼女たちのためにも当選したかったのに、昨年に衆院選では東京 12 区で 8 万余票を獲得するも次点で落選する。それでも彼女は、再起を期して駅頭で敗戦の挨拶をする。思えば、共産党の国政選挙の候補者は当選することは少なく、負ける方が圧倒的に多い。しかし、負けても負けても挑戦し続けるのだ。

町田市議から都議になった池川友一は、都立高校での「ツーブロックの髪型」禁止の撤廃を求めた。中学校給食の実現にも取り組んだ。理容師の応援を受け、妻と 4 人の子どもが支えるなか、昨年の都議選で再選を勝ち取る。19 人の当選者の挨拶は圧巻だ。

カメラは「しんん赤旗」編集部にも入る。紙面の割り付けでの確執、印刷から配送までが紹介される。しんぶんの拡大に尽力した党歴60年の古参党員も紹介される。百軒訪問して１、２軒購読してくれたという。ソ連共産党、中国共産党からの干渉と、毛沢東一派から押し付けられた暴力革命路線の排除が語られる。

宮城県仙南地区副委員長の吉田剛は、雪のなか党の政策を訴えるが、仲間と独自の地元の要望に応えることも大切だと語り合う。

黒田朝陽は、コロナ禍で生活が苦しい学生や子どもたちに食料を届けるフードバンクの活動で奮闘している。「資本主義が人類の最終到達点ではない」という言葉に明るい希望を感じた。

「百年と希望」と題してはいるが、日本共産党の百年を紹介したものではない。だが、99年目の１年間を取材してその素顔を、ナレーションも音楽もない映像と出演者の証言のみで、みごとに描き出している。

（7月9日より、あつぎのえいがかんkikiで、15日より、横浜シネマリンにて公開上映中）

==========

行事案内

☆7月21日（木）18:30～20:30　**ヘイトスピーチを許さない合同学習会　川崎、そして相模原へ！「川崎市人権条例の成果と課題から、相模原は何を継承するのか」**　講師：師岡康子弁護士　会場：ユニコムプラザさがみはらセミナールーム（相模大野駅から徒歩3分ボーノ相模大野サウスモール3階）　資料代：500円　主催：「ヘイトスピーチを許さない」かわさき市民ネットワーク・反差別相模原市民ネットワーク　連絡先：nohatekawasaki@gmail.com

☆7月22日（金）15:00～18:00　**第9回中国歴史講座**　会場：戸塚地区センター2階Ｂ会議室（戸塚駅徒歩5分）資料代500円　講演：菅野正則さん（日中友好協会神奈川県連合副会長）「分裂と混乱の南北朝時代」　主催：日中友好協会横浜西南支部　問合せ：080-5081-6522（大幡さん）

☆7月22日（金）18:00～19:00　**憲法改悪に反対　反戦平和を求めるスタンディング・金曜日デモ**　場所：JR桜木町駅前広場　主催：軍事費削って。大運動実行委員会、神奈川憲法共同センター、神奈川労働組合総連合　問合せ：045-212-5855（神奈川労連）

☆7月22日（金）18:00～　**憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝**　場所：新宿駅西口 小田急百貨店前　共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会／９条改憲NO！全国市民アクション

☆7月23日(土)13:30～16:00　**夏の講演会　コロナ禍と教育～その危うさと希望**　会場：藤沢市民会館第二展示ホール（藤沢駅南口徒歩10分）資料代500円（学生無料）　講師：佐藤隆さん（都留文科大学教授）主催：みんなの教育・ふじさわネット　090-9959-6398（松本さん）

☆7月23日(土)14:00～16:00　**JCJオンライン講演会　参院選後の政治の行方はどうなる**　講師：鮫島浩さん(元朝日新聞記者)　参加費500円　JCJ会員は無料 onlinejcj@gmail.comに申し込んでください。　非会員は参加希望者はネットのPeatixで参加費をお支払いください。申込み：(1)https://senkyogowa.peatix.com/ をクリック、(2)参加券を求める、(3)支払いに進む。初めてPeatixを利用する方はアカウントを作成。名前、メルアド、自分独自のパスワードを入力し、ログインする、(4)支払い手段の選択、(5)Zoomの配信urlを7月22日までにメールで知らせます。主催：日本ジャーナリスト会議（office@jcj.sakura.ne.jp、03-6272-9781）

☆7月23日(土)集合16:00～　デモ17時出発　**「東京202大会1周年記念TOKYO FORWARD」連続反対行動　嘘と捏造の2020東京　デモ**　場所：JOC前（東京メトロ外苑前駅5分）　主催：「オリンピック災害」おことわり連絡会（http://www.2020okotowa.link/）

☆7月23日(土)17:00～19:00　**JCJ神奈川支部7月例会　参院選の結果をどう見るか　コロナ、物価高、ウクライナ戦争の影響は？**　会場：かながわ県民センター304会議室（横浜駅西口徒歩5分）　講師：田崎基（神奈川新聞記者）　参加費500円　定員は50名で申込制です。(会員、一般の方とも)　電話やメールで必ず事前の申し込みをお願いします。当日はマスク着用でご参加ください。申込み：保坂（080-8024-2417、fdhosaca@theia.ocn.ne.jp）　主催：日本ジャーナリスト会議（JCJ）神奈川支部

☆7月24日(日)13:30開場　**「東京202大会1周年記念TOKYO FORWARD」連続反対行動　嘘と捏造の2020東京　集会**　会場：江東区文化センター（東京メトロ東陽町駅5分）　1部：東京オリンピックは何だったのか＊ナショナリズム/ジェンダー/オリパラ教育/自衛隊/監視/施設の現状/排除/NHKと公式映画…　2部：国際的な反対運動の紹介・報告、札幌招致反対運動の紹介・報告　主催：「オリンピック災害」おことわり連絡会（http://www.2020okotowa.link/）

☆7月24日（日）13:40～16:40　**日本政府、君が代の強制で、また、国連機関に叱られる！～それでもまだ歌わせますか？　再勧告実現！7.24集会**　会場:日比谷図書文化館(B1F)日比谷コンベンションホール(霞

が関駅 B2,C4 出口）　資料代 500 円 基調講演：勝野正章（東京大学）「現代社会における教師の自由と権利」、阿部浩己（明治学院大学）「再勧告の意義と教育の中の市民的自由」　特別講演：岡田正則（早稲田大学）「学問の自由と政治」　座談：阿部浩己、寺中誠（東京経済大学）、前田朗（東京造形大学）「勧告を得るってどんな価値があるの？実現の困難は克服できるの？」　教育現場の声　主催：「日の丸・君が代」ILO/ユネスコ勧告実施市民会議　連絡先：澤藤統一郎法律事務所（03-5802-0881）

☆7月24日（日）14:30～16:30　**くらしの相談センター応援コンサート**　会場：東海道かわさき宿・交流館4階（JR川崎駅徒歩10分）　会費1000円（ワンドリンク付、アルコールなし、持ち込みNG）　出演：アッシュさん（琵琶奏者）、ザ・のんべーず（演奏）　問合せ：044-246-6823

☆7 月 24 日（日）17:00～19:00　**原水爆禁止 2022 年世界大会・科学者集会：「安全保障」と差別**　オンライン開催　1 日目　講演：石山徳子氏（明治大学教授）「アメリカ核開発と先住民族：「犠牲区域」からの報告」 参加無料 主催：実行委員会 申込み：1 日目参加、名前を記したメールを kagakusya@astatel.net へ。

☆7 月 25 日（月）18:00～20:00　**憲法施行 75 年・連続シンポ：憲法と平和　第 1 回〝国際法・平和学の視点から考えるウクライナ戦争〟**　講師：阿部浩己さん（明治学院大学国際平和研究所所長）　会場：神奈川県弁護士会館 5 階（定員 50 名）　各回ごとに往復葉書で、講演会の回、憲法講演会申込み、住所、氏名を書いてください。送り先：〒231-0021　横浜市中区日本大通り 9　神奈川県弁護士会業務課　オンラインでの参加も申し込めます。　主催：神奈川県弁護士会　問合せ：045-211-7705

☆7 月 29 日（金）17:00～19:00　**『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会**　会場：かながわ県民センター 711 号室（横浜駅西口徒歩 5 分）　市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。問合せ：kura335200@star.ocn.ne.jp（倉田謙さん）　参加費 300 円

☆7月29日（金）18:00～19:00　**憲法改悪に反対　反戦平和を求めるスタンディング・金曜日デモ**　場所：JR桜木町駅前広場　主催：軍事費削って。大運動実行委員会、神奈川憲法共同センター、神奈川労働組合総連合　問合せ：045-212-5855（神奈川労連）

☆7 月 29 日（金）18:00～20:45　**九条の会事務局主催学習会：新たな改憲の危機と九条の会運動の意義**　会場：東京しごとセンター地下 2 階講堂（JR 中央・総武線飯田橋駅東口徒歩 7 分、都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線飯田橋駅 A2 出口徒歩 7 分、東京メトロ東西線飯田橋駅 A5 出口徒歩 3 分）　講演 1：渡辺治さん（九条の会事務局９「参院選の結果と改憲のゆくえ」　講演 2：高田健さん（九条の会事務局）「改憲原案作りをいそぐ憲法審査会」　参加費：一般 1000 円、学生 300 円　問合せ：九条の会事務局（03-3221-5075）

☆7 月 30 日(土)～31 日（日）　**第 52 回全国民主主義教育研究会全国大会**　オンライン＆東京労働会館中会議室（人数限定）　30 日 10 時～12 時 30 分　基調報告：前田輪音（前民研会長、北海道教育大学）　記念講演：両角達平さん（日本福祉大学）「スウェーデンの民主主義教育から日本の若者をエンパワーメントする主権者教育のヒント」　14 時～16 時 30 分　第 2 分科会：憲法と平和、第 3 分科会：社会科の学力と授業づくり　31 日 9 時～9 時 40 分　会員総会　10 時～12 時 30 分　第 1 分科会：民主主義思想と自治活動　第 4 分科会：SDGs と経済　15 時～16 時 20 分　特別報告：室橋祐貴さん（日本若者協議会代表理事）「『学校内民主主義』の実現で主権者の育成を～校則改革を事例に」　参加費：全日程 3000 円、1 日のみ 1500 円、学生・院生 1000 円　参加申込みフォーム：7 月 20 日まで https://forms.gle/k5DTy5yZvonBp93U7 問合せ：sugasawaya@jcom.home.ne.jp（菅澤）

☆7 月 30 日（土）13:00～17:00　**横浜市教員採用試験に向けての学習会**　会場：桜木町ぴおシティ 6 階さくらリビングミーティングルーム（桜木町駅徒歩 3 分）　2 次試験対策　参加費 500 円　主催：横浜教職員の会　問合せ：045-212-5753

☆7 月 30 日（土）13:30～　**講演会「日米同盟の解消をめざして…神奈川を戦争の出撃拠点とするな！」**　会場とオンライン開催　平和委員会のホームページから視聴。講演：小泉親司さん（日本平和委員会理事）「日米同盟の危険性と行方」、報告：菅沼幹夫さん（県平和委員会基地対策委員）「変貌する神奈川の基地」、現地報告：厚木基地とオスプレイ、横須賀基地と空母「いずも」　会場：相模原総合学習センター（JR 相模原駅徒歩 20 分）　資料代 600 円　主催：神奈川県平和委員会　問合せ：045-231-0103

☆7 月 30 日（土）14:00～16:50　**第二回山中市政をすすめる市民のつどい**　会場：横浜市従会館 4 階ホール（桜木町駅徒歩 12 分）　報告：①参議院選挙後の岸田政権と情勢：畑野君枝（前衆議院議員）、②山中市政の市政運営と中期計画：あらき由美子（日本共産党市議団長）、③山中市政の内容と今後の課題：渡辺俊雄（自治体問題研究所事務局長）、④「３つのゼロ」市民要求実施署名：水野博（市団体連絡協議会事務局長）、⑤山中市長と私たちのつながり：岡田尚（市民のための横浜市政を進める会代表世話人）　今後の活動提起：菅野隆雄（市民の市長をつくる会事務局長）　参加資料代 500 円　主催：市民の市長をつくる会　問合せ：045-650-1896 テーマ：山中市政の特徴と公約実現に向けた今後の活動など　資料代 500 円　主催：市民の市長をつくる会　問合せ：045-650-1896

☆7月31日（日）14:00 ～16:30　**セミナー：精神障害者の身体拘束の基準見直しは妥当か？**　会場：日比谷図書文化館セミナールームB　形式：会場とZoom 同時開催　講師：長谷川利夫先生（杏林大学教授）、佐々木信夫（弁護士）、司会：島薗進先生（大正大学客員教授、東京大学名誉教授）　参加方法: 事前申し込み必須（7月28日まで）　会場参加の場合は事前申し込み先着17名で締め切らせていただきます。事前申込み方法：「精神障害者の身体拘束の基準見直しは妥当か？」（必須）、名前（必須）、参加方法（会場

かオンライン参加か明記）、連絡先（E-mail 必須）を明記の上、右E-mail 先へ申込みください。E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子、またはこちらhttps://forms.gle/6yjpwnp3qNoca68a8案内通知：会場参加者およびZoom オンライン参加者には7月28日ころまでにURL などメールにてご案内いたします。参加費1000円　振込み先：横浜銀行鶴見支店店番号361 普通口座1550312 神野玲子　7月28日までに振込み願います。会場参加者は、当日会場にてお支払いください。主催：ゲノム問題検討会議 https://www.gnomeke06.net/　問合せ：090－2669－0413 神野玲子

☆7月31日（日）17:00～19:00　**原水爆禁止2022年世界大会・科学者集会：「安全保障」と差別**　オンライン開催　2日目　講演：和田賢治氏（武蔵野学院大学）「ジェンダー化する安全保障」　主催：実行委員会　参加無料　主催：実行委員会　申込み：2日目参加、名前を記したメールを kagakusya@astatel.net へ。

☆8月1日（月）13:30～　**第25回ピースフェスタ港南**　会場：港南区民文化センターひまわりの郷（上大岡駅直結）　講演：三上智恵（映画監督）「復帰50年の沖縄」　バンドゥーラ演奏：カテリーナ・グジーさん　協力券1000円、小中高生500円　主催：実行委員会　問合せ：080-2085-9997（小島さん）

☆8月2日（火）～9日（火）10:00～19:00　**第7回戦争の加害パネル展**　会場；かながわ県民センター1階展示室（横浜駅西口徒歩5分）　主催：記憶の継承を進めるかながわの会（090-7405-4276）　後援：神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、朝日新聞横浜支局、tvk　協賛：週刊金曜日

☆8月3日（水）18:30～20:30　**第7回戦争の加害パネル展　山田朗さん講演会「大日本帝国の戦争～膨張・侵略の77年と反省・隠蔽・忘却の77年」**　講師：山田朗さん（明治大学教授）　会場；かながわ県民センターホール(横浜駅西口徒歩5分）資料代500円 主催:記憶の継承を進めるかながわの会(090-7405-4276)　後援：神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、朝日新聞横浜支局、tvk　協賛：週刊金曜日

☆8月5日（金）17:30～19:30　**8.6ヒロシマ平和へのつどい2022**　第1部　問題提起　「ヒロシマから－ウクライナ戦略戦争に、平和都市ヒロシマに先立つ軍都・加害基地廣島をみる」西岡由紀夫さん（広島県高等学校被爆二世教職員の会会員)、「2022年朝鮮半島をとりまく情勢」尹康彦さん（在日韓国民主統一連合広島本部副代表委員)、福島からのメッセージ　武藤類子さん、沖縄からのメッセージ　清水早子さん　第2部　記念講演　「『軍事力による安全保障ジレンマ』に陥るな！－ウクライナ危機に乗じた軍拡は許されない」湯浅一郎さん（ピースデポ代表）　参加費1000円　主催：実行委員会　連絡先：090-4740-4608

☆8月6日(土)～7日（日）　**2022年歴史教育者協議会全国大会　第73回愛知/東海大会**　6日10時～12時30分　全体会　機長提案：山田朗（歴史教育者協議会委員長、明治大学教授）　地域実践報告　君は『満州』に行くか－中国残留日本人の孫たちとともに学んだ戦争と平和　飯島春光（長野県歴教協）　13時30分～17時30分　分科会Ⅰ　18時～19時30分　地域に学ぶ集い　7日9時～11時30分　分科会Ⅱ、12時30分～14時30分　分科会Ⅲ　15時～16時　閉会集会　16時～21時　現地見学　8・9日　現地見学　申込み：7月15日までに、富士国際旅行社に（045-212-2101）

☆8月7日（日）13:30～　**連続学習会「新疆・その風景とウイグル族の人びと」**　会場：かながわ県民センター304号室（横浜駅西口徒歩5分）　講師：今村遼平（理学博士）　資料代500円　主催：日中友好協会連合会　問合せ：045-663-0041

☆8月10日（水）14:00～　**関東大震災朝鮮人・中国人虐殺記録映画「隠された爪痕」上映会**　会場：衆議院第一議員会館地下1階大会議室（地下鉄丸ノ内線国会議事堂前駅徒歩4分）　要予約　主催：「関東大震災における朝鮮人・中国人虐殺100年・犠牲者追悼大会実行委員会（準備会）　問合せ：080-1142-2515（川見）

☆8月15日（月）16:00～17:00　**憲法を守る宣伝活動**　場所：桜木町駅雨広場（降雨時は野毛近道入り口付近）　呼びかけ：九条かながわの会　問合せ：090-7175-1911（後藤）

☆8月15日（月）～21日（日）　**第20回ノーウォー横浜展**　会場：神奈川県民ホールギャラリー全室（山下公園前）　主催：実行委員会（090-1263-0843）

☆8月20日（土）14:00～16:00　**日本の食と農を考える2022年度公開研究会**　第2回「種子法廃止後のたねのゆくえ」　報告者：吉森弘子（「たねと食とひと＠フォーラム」共同代表）　参加無料　希望者は下記へ当日接続してください。https://us06web.zoom.us/j/83006240026?pwd=bWUyS2tmVm5ob1ZocmFvc1J2eUhuUT09　ミーティングID: 830 0624 0026、パスコード: 638627　主催：日本科学者会議食糧問題研究委員会

☆8月21日（日）14:00～16:00　**ずし平和デー参加企画・講演会「海から考える地球・環境・平和」**　会場：逗子文化プラザなぎさホール（京急逗子・葉山駅徒歩2分）　講師：武本匡弘（環境活動家・プロダイバー）　参加費700円（高校生以下無料）　主催：逗子・葉山九条の会　問合せ：046-878-6044（富塚さん）

☆8月23日（火）14:00～15:00　**「日本の科学者」「支部通信」発送作業と支部幹事会**　会場：かながわ総研会議室（横浜市中区不老町 2-8-8 不二ビル6階604号室、045-662-9839）　交通：JR関内駅南口または地下鉄伊勢佐木長者町徒歩5分、旧横浜文化体育館北側　連絡先：飯岡ひろし（携帯電話090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com)

☆8月28日（日）**第63回日本社会医学会総会**　会場とオンライン開催　シンポジウム「戦争と医学医療-過去から学び未来につなげるために」　座長：垰田和史（びわこリハビリテーション専門職大学)、大野義一朗（北海道立天売診療所）　シンポジスト：岸玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招へい教授）日本医学会120周年記念誌編纂の中で考えたこと、西山勝夫（滋賀医科大学名誉教授）「戦争と日本の医学医療」に関する調査・研究と「戦争と医の倫理」の検証を進める運動、柴田英治（四日市看護医療

大学学長）戦争準備の時代における石原修、「女工と結核」の意義　第63回日本社会医学会総会総会全体プログラムhttps://sites.google.com/.../%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0...第63回日本社会医学会総会総会HP　https://sites.google.com/view/socmed63/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

☆8月30日（火）18:00～20:00　**憲法施行75年・連続シンポ：憲法と平和　第2回〝憲法に緊急事態条項は必要ない〟**　講師：飯島滋明さん（名古屋学院大学教授）　会場：神奈川県弁護士会館5階（定員50名）　各回ごとに往復葉書で、講演会の回、憲法講演会申込み、住所、氏名を書いてください。送り先：〒231-0021　横浜市中区日本大通り9　神奈川県弁護士会業務課　オンラインでの参加も申し込めます。主催：神奈川県弁護士会　問合せ：045-211-7705

☆9月4日（日）14:00～16:00　**講演会　戦争に動員される科学者・技術者－玉川大学量子暗号研究と経済安保法**　会場：玉川学園コミュニティーセンターホール（小田急・玉川学園前駅直結）　先着140名　（事前申し込み不要）　資料代500円　井原聰（東北大学名誉教授）「科学・技術の軍事動員の危険性」、小寺隆幸（京都橘大学元教授）「玉川大学の量子暗号研究の危うさ」　主催：玉川大学軍事研究疑惑を問う町田市民有志の会　問合せ：kodera-86@jd6.so-net.ne.jp

☆9月19日（月・休）13:30～　**改憲発議と大軍拡やめろ！さようなら戦争さようなら原発9・19大集会とデモ**　場所：代々木公園野外ステージ　B地区、ケヤキ並木（JR原宿駅または渋谷駅）　共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／さようなら原発・1000万人市民アクション実行委員会

☆9月25日（日）13:00～17:00　**第17回シンポジウム歴史教科書・いままでとこれから　新科目「歴史総合」「日本史探求」「世界探求」と歴史教育の課題**　Ⅰ.桐生海正さん（歴史学研究会）（仮）「歴史総合」教科書－その特徴と課題、Ⅱ.教科書ネット21ワーキンググループ（仮）「探求科目」特徴と課題、Ⅲ.小嶋茂稔さん（東京学芸大学）（仮）「歴史総合」の教員養成の課題　会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室（定員65名）　資料代：一般1000円、学生・院生500円　会場参加・オンライン参加　主催：歴史学研究会ほか　連絡先：歴教協（090-8100-1038）

☆9月26日（月）18:00～20:00　**憲法施行75年・連続シンポ：憲法と平和　第3回〝敵基地攻撃能力と日米一体化〟**　講師：半田 滋さん（防衛ジャーナリスト）　会場：神奈川県弁護士会館5階（定員50名）各回ごとに往復葉書で、講演会の回、憲法講演会申込み、住所、氏名を書いてください。送り先：〒231-0021　横浜市中区日本大通り9　神奈川県弁護士会業務課　オンラインでの参加も申し込めます。　主催：神奈川県弁護士会　問合せ：045-211-7705

☆9月28日（水）14:00～　**日中国交正常化50周年記念大集会「中国を仮想敵国に仕立て上げて、着々と戦争準備に突き進んで良いのか。中国は敵ではない。最大の貿易相手国だ－日中友好こそ、日本の最大の安全保障の一つだ」　事前申込み要**　会場：衆議院第一議員会館地下1階大会議室（地下鉄丸ノ内線国会議事堂前駅徒歩4分）　主催者挨拶：藤田高景　来賓挨拶：村山富市、鳩山由紀夫、孔鉉佑、森田実　日中友好の音楽　記念講演：浅井基文（元広島平和研究所所長）「9条及び声明・条約の初心に戻ろう」　主催：実行委員会　申込先：murayamadanwa1995@ybb.ne.jp

☆9月28日（水）18:30～　**自然エネルギー連続講座第3講**　講師:豊田陽介さん（NPO法人気候ネットワーク上席研究員）　脱炭素地域づくりと太陽光発電これからの太陽光発電普及の方向性と可能性　参加・資料代：1回800円(学生:無料)　4回連続ご参加の方は2,800円　講演レジュメ：Zoom参加者には事前にデータで講演レジュメをお送りします。紙ベースのレジュメをご希望の方は、郵送費の実費等として1回につき150円のご負担をお願いします。申込み：5月15日までに、メールまたはFaxでの申し込みの項目　名前、電話番号、住所、パソコンのメールアドレス、参加講座(○印を)　第3講　参加形態(会場　Zoom)　紙ベースレジュメ(希望　不要)　第1次分として5月15日までにメールかFax、郵便などで事務局まで申し込み下さい。申込みいただいた方には、事務局より請求書と郵便振替用紙をお送りします。郵便振替かゆうちょ銀行への振り込みでお願いします。申込先・主催：原発ゼロの会・エネルギー部会（〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19　内本町松屋ビル10 370号、電話06-6949-8120　FAX06-6949-8121 メール nakamura@oskougai.com）

☆10月15日（土）13:00～16日（日）15:30　**2022年第67回日本母親大会in埼玉・群馬**　15日13時～16時　問題別集会・分科会　会場：埼玉県さいたま市内4会場、桶川市内1会場　16日12時～14時30分　全体会　会場：Gメッセ群馬・展示ホール　記念講演：田中優子さん（法政大学前総長）「自由を生き抜く実践知」　協力会員券1日1500円　主催：実行委員会（03-3230-1836）

☆11月19日(土)～12月11日(日)　**日本科学者会議第24回総合学術研究集会 in 大阪　新型コロナウィルス・気候危機下の科学と社会－脱炭素・脱原発・脱貧困を求めて－**　会場:大阪大学とオンライン　11月19日全体会1:下田正(大阪大学名誉教授) 演題「戦争と平和ー核兵器の開発の歴史を中心に」、全体会2:中川敬介(岐阜大学応用生物科学部准教授) 演題「コロナウイルスと One Health」　12月11 日 全体会3:浅岡美恵(京都弁護士) 演題「気候危機と人権」　主催：JSA 24総学実行委員会　問合せ：24sogaku@jsa.gr.jp https://jsa.gr.jp

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10 日ごろの締め切りです。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052）